



南風

＜学校教育目標＞ 進んで学ぶ生徒 心豊かな生徒 心身共に健康な生徒

✦今年も学びからのキラリが続く、琥珀色の輝き✦

校長 正田 真由美

本校は、令和3年からの3年間、さらに令和6、7年度の2年間、市の教育委員会から委嘱を受けて学習についての研究をしています。昨年度は、その研究成果の中間発表があり、さいたま市や他市のたくさんの先生方に授業を参観していただきました。今年度も教科の特性に合わせて、『TDL：Time to deepen your learning（学びを深める時間）』を取り入れた授業を、各教科が1年間に1つ以上の単元を研究することになりました。中学生がその学年で学ばなければならない内容は、クラス全体での授業スタイルで行います。さらにTDLの時間では『自分の学びを深めるため』に授業中、自分の学びを個人で深めるスタイルで行います。だから、自分でこだわって進めてもよいし、逆にわからないことがあれば、どんどん先生方に聞いて進めたり、得意な友達に許可をもらって教えてもらったり、友達と協力して考えてもいいという時間でもあります。これからさらに先生方も研究していくので、各教科でのTDLの時間はしっかり取り組む時間になるよう協力してもらいたいです。11月28日（金）には、他校の先生方を招いて研究発表を行いました。いろいろな立場の方からの感想、意見を参考に今後も学習についての研究を続けていくので、与野南中全員で進めていきましょう。

昨年に引き続き、与野南中学校の生徒は、授業で学んだ自分たちの力をいろいろな場面で発揮してくれました。今年も学びからのキラリで琥珀色に輝いていることは嬉しいです。

11月13日（木）に2年生は、越谷レイクタウン会場での『「第25回全国中学生創造ものづくり教育フェア埼玉県大会」SAITAMA中学生創造ものづくり教育フェア』において、技術の時間に製作した自分たちのロボット（トイレットペーパーのような形を拾って台に乗せる）をチームで操作し、同じ埼玉県内の中学校と戦いました。校内予選をクラス大会、学年大会を経て県大会への出場権を得た4チームが、午前中の予選に出場しました。午後は3チームが決勝トーナメントに出場しました。1回戦目で、なんと与野南中チーム同士で戦うというハプニングもありました。与野南中の中で一番すごいと言われていた「チーム名無し」が準々決勝で敗退してしまい、関東甲信越大会に進めないと思っていましたが、表彰式で「審査員特別賞」をいただき、上に進めることになりました。もう一つキラリ、琥珀色に輝きました。12月7日（日）千葉県柏市で開かれる『「第25回全国中学生創造ものづくり教育フェア」関東甲信越地区大会 千葉大会』に埼玉県代表として出場することになりました。関東甲信越大会でも自分たちのベストを発揮し、会場で輝いてほしいと思います。

3年生3名は、税の作文コンクールで大きな賞をいただき、11月17日（月）にさいたま新都心合同庁舎で行われた納税表彰式で高校生と一緒に表彰されました。埼玉県の賞、さいたま市の賞をいただきました。全体の中から2名、中学生と高校生から1名ずつ代表として、税の作文を発表しました。中学生の代表が与野南中の3年生でした。さらに今年は、3年生がたくさん税の作文コンクールにすばらしい作文を応募してくれたおかげで、与野南中学校も表彰されました。みなさんに代わって賞状を受け取ってきました。ありがとうございました。1年生からの社会科の授業の積み重ねの結果がキラリに結び付いて、琥珀色がより色濃く輝きました。

学びの場でも、上級生がキラリする背中を見せてくれました。次は、1年生のキラリする姿を見たいと思います。